

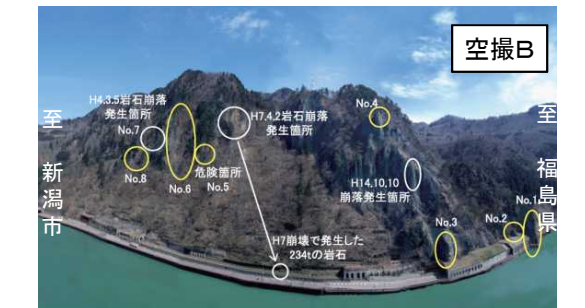
交通支障区間を解消し走行性が向上

- ・国道49号は福島県・新潟県を結ぶ幹線道路。
- ・新潟県東蒲原郡阿賀町部分では急カーブ・狭小トンネル等の交通支障区間が存在し、走行性の観点で課題が存在。
- ・延長7.5kmの別線ルート建設により、交通支障区間を回避し、走行性が向上。

事業の概要

【揚川改良の目的】

- ① 岩石崩落等の危険区間の回避
- ② 事前通行規制区間の回避
- ③ 急カーブ・すれ違い困難箇所の回避



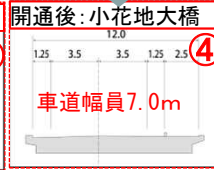
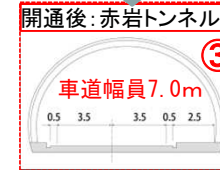
本尊岩トンネル・谷花地区の岩石崩落危険箇所

幅員狭隘等の交通支障区間の解消

- ・旧国道49号には急カーブ・狭小トンネル等の交通支障区間が存在。
- ・揚川改良の整備(別線ルート)により、大型車の対面通行や背高海上コンテナ車両の通行が可能に。

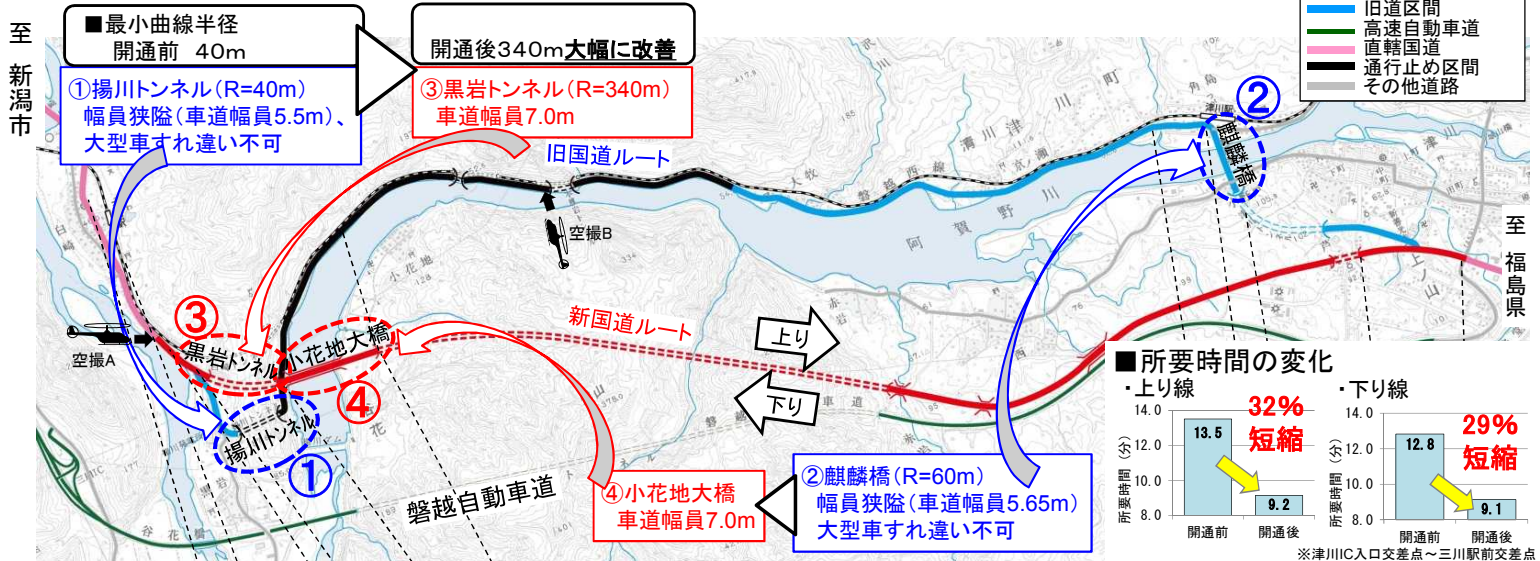
ヒアリング結果(抜粋)

- ・急カーブが無くなり、救急車内での処置がしやすくなった。【消防署】
- ・狭隘区間が解消され、輸送時間が短縮した。【物流事業者】



走行性向上

- ・開通前はトンネル・橋等の狭隘区間で速度低下が発生していた。
- ・開通後は狭隘区間が解消し、区間全体の速度が向上、所要時間が減少。



平均旅行速度 (km/h)	7時~19時									
	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10
70	50.4	42.1	46.2	52.2	50.6	57.2	42.8	49.4	48.5	42.9
60	43.3	38.3	42.9	37.9	42.8	49.4	48.5	33.4	29.0	48.2
50	33.4	40.8	35.2	39.5	50.7	44.9	48.8	40.3	39.5	41.1
40	42.9	52.8	40.3	41.1	51.3	58.7	50.5	43.5		

Legend: ■ 開通前 (Before opening) ■ 開通後 (After opening)

【出典】開通前：民間プローブデータ（H23.4月～H24.3月平日平均）、開通後：自走プローブ調査データ（H25.7.5調査データ）